

新社長登場

New President

三菱マテリアル出身の川上勝久前社長の意向を受けて6月1日付で社長に就任した。国内ステンレス市場が大きな変化を迎える中、「危機感しかない」と率直な思いを口にするが、「お客様にとっての最善を常に考えていたい」と抱負。密着型の営業展開を徹底し、きめ細かく流通機能を発揮していく考えだ。川上氏は相談役として残り、セカン



イノウエ
井上 浩樹氏

組織で顧客最善に注力

ながら、ステンレス厚板・薄板・特殊ニッケル合金の3本柱とともに「お客様のニーズにお応えすべく、加工ネットワークの強化や輸入業にも取り組む。

▽井上浩樹（いのおえひろき）氏1999年慶大商卒、リクルート入社。グループ会社で企画・営業に携わりながらアメフト強豪のリクルートシーガルズ（現オービックシーガルズ）のQBとして活躍。03年イノウエ入社、12年営業部第二営業グループ部長、15年常務。17年現職。好きな言葉は慶応義塾の信条でもある「自我作古（我より古をなす）。井上氏は「ものづくりが大きく変わる中で、イノベーションを起こすような新しいことに挑戦していきたい」と意欲的に語る。休日は小学生2人の娘との時間を大事にしているそうだ。76年10月12日生まれ、40歳、東京都出身。

ドライブの充実を図りつつ、会社の持ち味でもある材料技術面でのバックアップに回る。

井上新社長は慶応高時代からアメリカカンファドボール部の体育会育ち。大学時代にはQBとしてオールジャパンに選ばれたなど活躍したが、チームは日本一を達成できず。この悔しさを糧に、

社会人では見事日本一に輝いた。その体験を先輩に伝えるべくQBコーチを務め、11年からの5年間は慶応高校の監督も歴任するなど、面倒見がよく義理人情に厚い。

「アメフトチームは会社組織と似ていて、部長先生を筆頭に、社会人コーチ、学生コーチ、そして高校生選手と総勢10

0人を超え、チームとしての規律・戦略が非常に大切な要素。一人ひとりの良い部分を伸ばしてチーム力を上げる」と語る。新常務の池田謙次氏を中心に「個性的なメンバーの良い部分を伸ばし、組織として会社全体をより強く」を念頭に置く。

営業・品証・経理・アシスタントの力を結集させ

り組む。
(菅原 誠)